

様式例第3号

「朝来市黒川自然環境基本構想(素案)」に関するパブリックコメントの結果		
意見等の募集期間	令和5年2月22日～ 令和5年3月20日	
意見等の受付件数	5 人 8 件	
提出方法の内訳	郵便 人	ファクシミリ 人
	電子メール 5 人	持参 人
<p>実施機関(担当課等)コメント</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。自然保護や地域活性化への地域住民の皆様の尽力に感謝申し上げますとともに、今後も情報共有を密に行い、しっかりと連携を図りながら事業を進めてまいります。</p>		
<p>提出された意見等の概要 (類似する意見については、取りまとめて掲載しています。)</p>		
番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
1	<p>第3章 朝来市の自然環境を取り巻く現状と課題</p> <p>2) 朝来市の課題</p> <p>課題1 市内の希少野生動植物の生息・生育状況に関するデータを蓄積するため、生物保護活動に取り組む市民や民間団体等とも連携し、生息調査、情報収集を行う必要があります。</p> <p>⇒ハンザキ研究所+地元任意団体、自治協会員にて実施。</p> <p>課題2 現在生息している種の調査、整理とともに、確認できなくなった動植物の生息環境の復元を目指しつつ、身近な環境変化や現状について周知が必要です。</p> <p>⇒ハンザキ研究所+地元任意団体、自治協会員にて実施。</p> <p>課題3 市民や企業、団体と連携した清掃活動を行うとともに、自然環境保全にかかる教育活動、周知を図る必要があります。</p> <p>⇒ハンザキ研究所+地元任意団体、自治協会員にて環境整備とイベントによる体験会を実施。</p>	<p>地域自治協議会や地元団体、地域住民の皆さんとの連携を強化し、官民が一体となって課題解決へ向けた取り組みを進めてまいります。</p> <p>また、今回の構想のもとで整備を行う施設には、黒川地域の魅力も発信できるよう工夫してまいります。</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
	<p>課題4 オオサンショウウオやそれらを取り巻く動植物や水源の森など、生物多様性について情報発信を行い、その生態や取り扱いについて広く一般に周知するとともに、オオサンショウウオ保護指針や生物多様性地域戦略の策定など制度を確立させる必要があります。 ⇒ハンザキ研究所+地元任意団体、自治協会員にて実施。</p> <p>課題5 官民が連携した自然環境を活かしたまちづくり、地域活性化施策を展開し、人の営みと自然との共生を推進していく必要があります。 ⇒ハンザキ研究所+地元任意団体、自治協会員にて実施。</p> <p>2) 黒川地域の課題 地域の課題</p> <p>課題1 黒川地域の人口は46人、高齢化率が約70%と非常に高く、今後の地域継続を図っていくことが課題です。</p> <p>課題2 大明寺、黒川温泉、朝来群山ふるさと自然公園、壮大なロックフィルダムである黒川ダムなど多くの観光資源がありますが、連携した周遊性のある取組みを進めていくことが課題となっています。</p> <p>課題3 オオサンショウウオが生息する地域であり、その恵まれた自然環境を活用した取組みが課題となっています。</p> <p>課題4 黒川温泉が営業されており、観光客や常連の方など多くの方に利用される施設となっていますが、利用者の多くが短時間で帰るため、地域での滞在時間が短い状況となっており、周辺施設との連携が課題となっています。 ⇒魅力的なPRを行なう</p>	
2	<p>『黒川は交通の要所、ハブの町』 生野銀山町歩き回廊、多々良木、竹田城跡、与布土。丹波からの入り口というイメージを植え付けることが大切。 現在、大外からの千ヶ峰への林道も整備される最中、R429の峠もそれを目指したものにしようか。</p>	<p>新たに整備する自然環境保護施設を訪れた方が、黒川地域だけでなく、市内全域へ周遊でき、市外からも訪れやすくなるよう、動線についても積極的に発信していくことが必要であると考えます。</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
3	<p>『歴史資源、自然遺産の活用』</p> <p>?“平家坂橋 “に名が残るように、黒川は落人の集落伝説（直谷、細平）がある。</p> <p>?黒川古道として、ハンザキ研究所の対岸の山道が屏風神社付近までである。</p> <p>?庚申信仰七所参りの古道、本村、梅ヶ畑の日吉神社など、各村に立派な神社がある</p> <p>?自然遺産は洞滝、直谷不動の滝、法道谷（上生野）、黒川溪谷、蛇行する市川など豊富。</p>	<p>「第5章（2）地域の維持・活性化の取組み 1）黒川地域の主な地域資源」に、洞滝、直谷不動の滝を追記します。</p>
4	<p>黒川本村自治会では、県営生野ダム、奥多々良木発電所上部ダム黒川湖建設以来、地域の孤立と少子高齢化に危機意識を強く持ち、黒川温泉開設時に温泉開発への出資、また、全戸での個人出資などに加えて、温泉施設改修に伴い辺地債を活用した地域活性化施設（温泉に無償貸与）の建設など総額2000万円にも上る多額の投資を行なってまいりました。</p> <p>今回、対象となっています公園センターの、これに関する委託業務に関しても、旧生野町から、低迷している施設利用客の増加を図るために、温泉利用客の促進など地域活性化に資する運営をと、業務委託の要望を受けて、地元で施設改良（喫茶・加工施設）を行い、分担金、施設増設資金などを住民組織の「あそぼ会」が数百万投じて実施しました。運営においても「めっちゃおもしろい黒川大作戦」秋・春のイベントや「ジャガイモ饅頭」などの開発をもって年間2万人程度の入込数を記録し安定した経営内容でした。</p> <p>現状は、高齢化に伴う加工施設の閉鎖、喫茶メニュー減少なども影響し入込数の大幅な減少に陥り、自他ともに認める活性のない状況となっています。</p> <p>本村自治会が、上部ダム建設直後に作成した地域活性化基本構想「わしら100まで笑って暮らそう」の中では、黒川温泉シャワー効果を持って黒川地域全体の活性化を図ることを目的としていますが、温泉だけでは集客力は限られており、それに付随する集客施設が必要と謳</p>	<p>平成30年に策定された「生野町黒川地区の観光振興・地域活性化基本構想」は、黒川地域にある観光資源を活用し、観光経済振興、地域活性化に結び付けることを目的とした構想です。</p> <p>本構想では、「人と自然との共生」を推進するうえで、朝来市内の自然環境、生物多様性を適切に保護し、後世へ継承していくことを目的に、その拠点となる施設を黒川地域に整備することで誘客を図り、地域活性化にも寄与していくことを定めています。</p> <p>今後は双方の視点から関係課が連携し、黒川地域の維持、地域活性化に取り組んでいきます。</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
	<p>われております。しかし、平成30年に黒川地域活性化基本構想が作成されるに至るまで集客に繋がる計画は全くない状況でした。また、ダム工事の折、地域活性の目玉として建設されていた風車も撤去されましたが、市、地域としては、再建設要望を継続中との判断です。平成30年に作成された基本構想においても、既に、5年間も過ぎて居りますが未だに整備の実施計画要項が示されておらず、そのスピード感には失望いたします。現況での温泉経営は極めて厳しく外部支援によりのみ運営が可能な状況下にあると考えられます。</p> <p>また、今回、計画されております環境基本構想においても、施設計画に際して、地域活性に多大な投資をして努力している当事者地域への何等の事前説明もないまま進行していることを大変遺憾に感じております。</p> <p>今後の環境基本計画における施設計画においても、中途半端な施設ではなく基本構想にもとづき十分な集客が見込める施設の内容とオペレーションが組める体制が必要と思います。特に、本計画と活性化基本構想の実施計画が横断的に連携したものとし、より強固な事業計画が策定されることをお願いします。</p>	
5	<p>第5章 自然環境の保全・地域活性化の取り組み</p> <p>○法令等の整備について</p> <p>「法的な枠組みの整備を検討していきますと。」ありますが、もっと、覚悟を持った文言に訂正していただきたい。</p> <p>かつて、黒川大外地域で架橋の新設工事が行われましたが、排水対策が行われていないため、濁水を逃れて岩場に這い上がったオオサンショウウオがカラスに襲われる報告がありました。</p> <p>この地域のどの河川、谷川にも、オオサンショウウオが生息しています。全体的に降水面積も小さく川の水量も少ない状況下であり、このため、小さな工事であってもオオサンショウウオが被害に会うケースが多くあります。ぜひ、オオ</p>	<p>人の営みとオオサンショウウオなどの水生生物の保護を両立させるため、河川工事等における相互理解、協力体制の確保が必要であると考えています。文章中の「法的な枠組みの整備」の中には、朝来市独自のオオサンショウウオ保護指針や条例制定も含んでおり、今後、関係各所と連携を図りながら、適切な法整備を進めていきたいと考えます。</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
	サンショウウオ保護指針など市条例の策定を積極的に検討し実施してください。	
6	<p>全体的には「朝来市黒川自然環境基本構想(素案)」(以下「基本構想」という。)について概ね賛成です。</p> <p>しかし、地域の課題として挙げられているように、この黒川地域も世帯数や人口減少のみならず、高齢化率が非常に高いいわゆる「限界集落」となっており、祭事など地域が担う行事にも限界が見えつつあります。その中で、基本構想に掲げられている課題として、観光振興や動植物など自然環境保護にフォーカスされているのは、文化財課としてはあるべき姿かと存じますが、地域力の低下が招いた結果がこれらの課題の多くのところであることをご認識いただければと存じます。</p> <p>また、特にオオサンショウウオにフォーカスした施設運営と地域がどう関わっていくのか、今回の基本構想からはあまり見えないところであります。いくつかの箇所において「地域の協力を得て」などと書かれておりましたが、地域力が特に低下しているこの黒川地域において、本基本構想にどう関わってどこに協力するのか、そしてそれがどう地域活性化に繋がるのかを明確にさせていただく必要があると考えます。</p> <p>基本構想の策定にあたっては、これらの課題をご認識いただくとともに、黒川地域を中心とした市民への説明をしっかりと果たしていただき、地域の協力体制のもと、さらに充実した地域の活性化につながる基本構想の策定をお願いできればと存じます。</p>	<p>ご指摘のとおり、地域活力の衰退に伴う地域の維持が困難な現状が最大の課題であると考えております。</p> <p>本構想は、オオサンショウウオを中心とした朝来市の自然環境を保全していくとともに、オオサンショウウオの生体展示等や調査研究活動の充実によって、市内外からの多くの観光客や研究者に黒川に足を運んでいただくことで、地域の維持も図っていきたいと考えております。</p> <p>また、体験を通して自然を学び、生物多様性について考える学習施設として機能することで、子供たちの学びの場として、社会見学や自然学校など、継続的な学校利用にも期待しています。</p> <p>まずは黒川地域を訪れる人を増やし、その中で地域や周辺施設との交流を活性化させていきたいと考えています。施設の運営については指定管理者を公募していきたいと考えており、長期的な運営はもちろんのこと、地域の皆さんとの交流、協力体制についても協議を重ねていくよう努めます。</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
7	<p>今回の基本構想では、地域との関わりについて多数書かれているが、黒川地域での基本構想素案についての説明会は一度だけであった。</p> <p>また、基本構想の内容のほとんどについて説明会での説明はなく、兵庫県から朝来市に移管される黒川自然公園センターの利活用についての議論が進められたただけであった。</p> <p>基本構想素案の中で、地域の施設との連携についても書かれているが、その中には元地域おこし協力隊として黒川地域に関わっている西村知亜氏が運営しているカフェ「そらしーど」との関わりも書かれている。当の西村氏は基本構想における連携についてご存じないとのことであった。</p> <p>このように、基本構想が地域との連携がすでに取れているように書かれているものの、地域との連携が取れていない。</p> <p>基本構想には黒川の名前を用いながら、黒川地域との連携を無視した進め方を行ったこの基本構想素案をそのまま進めることは問題が多いと考える。そもそも地域がこの基本構想に協力できるほど、世帯数も人口もないこの黒川で、この基本構想を進める意義は何なのか。</p> <p>さらに、このパブリックコメントでは回答をいただけないということであるが、一方的な意見募集を行い進めることに疑問である。</p> <p>地域との連携を図るのであれば、住民や事業者に対して丁寧に説明を行い、協力を得るべきであると考えます。また、基本構想の中で黒川地域の活性化との関わりや黒川地域との連携をどのように図るのか、明確にご回答いただきたい。</p>	<p>本構想は、第3次総合計画「人と自然との共生」に掲げる、貴重な自然環境を適切に保全するとともに、持続可能な利用によって将来へと継承していくことを目指し策定しました。</p> <p>「人と自然の共生」を推進する上で、具体的で分かりやすいシンボル事業として、オオサンショウウオを中心とした生態系の情報発信、調査研究、環境学習等を行う施設整備を進め、自然環境保護や地域活性化を推進していくことを目的としています。</p> <p>朝来市にはオオサンショウウオをはじめとする多様な生物が生息していますが、これまで、どのような種がどの範囲で、どの程度生息しているのかといった情報収集が出来ていませんでした。</p> <p>今回、新たな施設を整備することで市内生物の生息状況等を調査し、整理するとともに発信していくことで、自然環境を適切に保全していくとともに、後世へ継承していくことを目指します。</p> <p>黒川地域は、朝来市でも特に手つかずの自然が広がり、加えてオオサンショウウオ生息地として知名度も高いため、新たな施設を整備する場所として最適であると考えております。</p> <p>地域の維持、活性化について今回の構想にて記載した事項は、あくまで方向性や考え方を示したものであり、今後施設整備が進む中で地域の皆様と協議を進めてまいります。</p> <p>まずは黒川地域を訪れる人を増やし、その中で地域や周辺施設との交流を活性化させていきたいと考えております。</p> <p>施設の運営については指定管理者を公募していきたいと考えており、長期的な運営はもちろんのこと、地域の皆さんとの交流、協力体制についても協議を重ねていくよう努めます。</p>

番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
8	<p>たくさんの内容を盛り込んだ冊子を読ませていただきました。あの施設が生まれ変わるのはとても良いことだと思います。</p> <p>ですが、色んな事がオオサンショウウオありき過ぎて、ここの施設がこれからどうやって動いていくのかをやはり理想しか見えて来なく、市民の方の税金を使って運営していくのならばもっと時間をかけて沢山の市民に意見を聞くべきだと思います。</p> <p>10年先も運営していけるのか？施設を管理する人がちゃんと通い続けられるのか？など考えると少し現実から離れてるような気もします。当たり前かも知れませんが冊子には綺麗な事しか載っておらず、もう少し人間味のある事も盛り込んだ物を見てみたかったです。なぜ、そんなに話を早めなければならないのか？</p> <p>検討会委員の名簿を見ましたが、このメンバーで何の話が成立するのか？現実的な話をできる人がどのくらいいるのか？反対意見を言える人がいるのか？見えてこない事がやはり多いですね。</p> <p>あれもこれも繋げて無理やり物語を作って周りがついていけないのは不信感があり、「ああ、朝来市もどこぞやの県や市、行政がする事と同じなんだなあ」と、少し残念に思いました。</p> <p>こんな意見を述べたところで決定することを覆すことはないと思いますので、今、話題性を狙った凄い施設を作るのではなく、オオサンショウウオの寿命がわからないのと同じように長く長く続く施設にしてください。</p>	<p>本構想は、第3次総合計画「人と自然との共生」に掲げる、貴重な自然環境を適切に保全するとともに、持続可能な利用によって将来へと継承していくことを目指し策定しました。</p> <p>「人と自然の共生」を推進する上で、具体的で分かりやすいシンボル事業として、オオサンショウウオを中心とした生態系の情報発信、調査研究、環境学習等を行う施設整備を進め、自然環境保護や地域活性化を推進していくことを目的としています。</p> <p>令和2年度からは生野支所を中心に「オオサンショウウオの棲むまち」として、自然豊かなまちPRする事業を展開し、令和4年度には日本オオサンショウウオの会朝来大会が開催され、市内外から多くの方に来ていただき、自然環境への関心がさらに高まってきております。このような機運の中で、今回の構想を策定することになりました。</p> <p>検討会では、市が提案した素案を基に、さまざまな立場から意見をいただきながら反映させて策定に至りました。</p> <p>朝来市としても、これまで守られてきた豊かな自然環境を次世代へ継承していくために、今回の構想の理念を実現できる施設を整備していきたいと考えております。</p>